



Third party verified
Environmental Product Declaration

In conformance with
ISO14025 | ISO14040 | ISO14044



ナカ工業株式会社
NAKA CORPORATION

IBフロア AZ3000-DP

IB Floor AZ3000-DP



登録番号
SuMPO-EPD-2605-141-1

検証合格日
2026/5/25

公開日
2026/6/8

検証有効期間
2031/5/24

EPDタイプ
グループ製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格
ISO21930:2007

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。
EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。
<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

●基本情報

>プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

>GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	二重床 第7版
PCR登録番号	PA-242159-AG-07
PCR認定日	2023/05/10
レビューパネル委員長 (所属)	山岸 健 (一般社団法人サステナブル経営推進機構)
PCR有効期限	2028/05/09
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

>検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2017に従った第三者検証		
	<input type="checkbox"/> 内部 ■ 検証員による 第三者検証	<input checked="" type="checkbox"/> 外部 <input type="checkbox"/> 検証機関による 第三者検証	<input type="checkbox"/> EPDシステム認証 による第三者検証
検証実施者 (所属)	富永 聖哉 (株式会社ATGREEN)		

>準拠規格

準拠規格	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14040:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14044:2006	<input type="checkbox"/> ISO14067:2018
	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14025:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO21930:2007	<input type="checkbox"/> ISO21930:2017
	<input type="checkbox"/> EN15804+A2	<input type="checkbox"/> EN50693:2019	<input type="checkbox"/> ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDの比較可能性は、機能単位を適用しているものに限定されます。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	ナカ工業株式会社営業企画管理部
住所	埼玉県八潮市新町39
問い合わせ先	048-932-0191
LCA算定実施者 (所属)	ナカ工業株式会社 つくば工場 本社所在地：東京都台東区東上野2-18-10 日本生命上野ビル3F
事業者概要	事業内容：建材製品の製造・販売・施工（フリーアクセスフロア、連続手すり、補助手すり、階段すべり止め、壁保護材、点検口、避難器具、抗ウイルス製品他）

●製品情報

製品名称	IBフロア AZ3000-DP		
製品の型式	AZ3000-DP		
製品仕様	製品機能	高さ調整可能でパネルロック機能を持つ耐震型の支持脚とスチールパネルで構成し、電力や通信の配線等を収納できる機能	
	製品質量	32.30kg	換算係数 32.30kg/m ²
	製品の用途	主に事務所や店舗等の床に使用し、配線等を収納する床システム	
	技術性能	フリーアクセスフロア工業会「フリーアクセスフロアの性能評価2022.03」に規定される耐荷重性（3000N）、耐衝撃性等を備える	
耐用年数	年数	15年	
	使用条件	鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造の事務所用途	
	年数を設定した根拠	フリーアクセスフロア工業会のホームページQ & Aより引用	
製造サイト（製造拠点）	ナカ工業つくば工場、ベトナム		
製品概要	<p>【製品（パネル）寸法】 500mm×500mm×27.4mm</p> <p>【製品重量】 標準パネル：7.6kg/枚、開口パネル：7.5kg/枚</p> <p>支持脚：180g/本（H=60）～800g/本（H=300）</p> <p>開口パネル・標準パネルがあり、開口比率が異なる組み合わせが存在する。</p> <p>【耐荷重】 3000N※支持脚は、高さ（支柱部の長さ）のみが現場のニーズによって異なり（60mm～300mm）、支持脚の外径、原材料および製造工程は同一であることを条件とする。</p>		
製品ウェブサイト	https://www.naka-kogyo.co.jp/products/category-products/free-access-floor		

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量	
鋼材（パネル・支持脚）	34.8	11.21	kg
充填材（モルタル）	63.7	20.53	kg
アルミダイカスト	1.0	0.33	kg
ポリプロピレン	0.5	0.16	kg
その他	0.1	0.03	kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量	
段ボール	56.6	0.03	kg
チップボール	34.8	0.02	kg
ポリプロピレン	8.7	0.00	kg

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	-	-
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	-	-

● LCA 関連情報

> EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	<input type="checkbox"/> 単一製品	<input checked="" type="checkbox"/> グループ製品	<input type="checkbox"/> 業界製品
	サイトタイプ	<input type="checkbox"/> 特定サイト	<input checked="" type="checkbox"/> 複数サイト	
	開示方法	<input type="checkbox"/> 特定値	<input checked="" type="checkbox"/> 加重平均値	<input type="checkbox"/> 代表値 <input type="checkbox"/> 上限値
地理的範囲		日本国内		
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける 代表性の説明		PCR 6-8 支持脚の高さが異なる製品の取扱いより、異なる高さ（長さ）の支持脚が使用されるため、対象とする支持脚の高さ毎の年間生産本数による加重平均値を用いて算定している。また、パネルは開口パネル・標準パネルがあり開口比率が異なる組み合わせが存在するため、開口率25%を代表として算定している。なお、全拠点から収集したデータに基づき算定した。		
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける、算定結果の 上下幅に関する説明		PCR 6-8 支持脚の高さが異なる製品の取扱いより、異なる高さ（長さ）の支持脚が使用されるため、対象とする支持脚の高さ毎の年間生産本数による加重平均値を用いて算定している。対象とする支持脚は、高さ（支柱部の長さ）のみが異なり、支持脚径、原材料および製造工程は同一である。 【各支持脚のパネル天端までの高さ調整範囲】 60mm（最小値）～300mm（最大値） また、パネルは開口パネル・標準パネルがあり開口比率が異なる組み合わせが存在するため、開口率25%を代表として算定している。対象とするパネルは、開口比率のみが異なり、外径、原材料および製造工程は同一である。なお、全拠点から収集したデータに基づき算定した。		
複数製品EPDの説明		開口比率の異なるパネルに対し、異なる高さ（長さ）の支持脚が使用できる。		

> LCA関連情報

宣言単位	1㎡		
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)	32.30kg/㎡		
基準フロー（機能単位を満たすために必要な製品数）	-		
システム境界	<input type="checkbox"/> Cradle-to Gate	<input checked="" type="checkbox"/> Cradle-to-Gate with options	<input type="checkbox"/> Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア	クラウド版MiLCA ver.1.2.1.11		
LCIデータベース	IDEA 3.5.1		
特性化モデル	気候変動：IPCC 2021 GWP 100a withLULUCF、その他の影響領域：LIME2		
その他のバックグラウンドデータ			
二次データ品質	GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。なお、データ品質評価はISO 14044：2006（環境マネジメント—ライフサイクルアセスメント—要求事項及び指針）の4.2.3.6に従って行った。		
一次データ収集拠点	茨城県、ベトナム		
一次データ収集期間	2024年4月1日～2025年3月31日		
生物由来炭素の取り扱い	<input checked="" type="checkbox"/> 0/0アプローチ	<input type="checkbox"/> -1/+1アプローチ	
電力契約に 関する情報	使用有無	<input checked="" type="checkbox"/> 国や地域の平均的な電力ミックス	<input type="checkbox"/> その他
	種類		
	購入日		
	発行元		

> 算定対象段階

資材製造段階			施工段階		使用段階							解体段階				境界外	
A1	A2	A3	A4	A5	資材関連				光熱水関連			C1	C2	C3	C4		D
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理		潜在的な負荷と便益
■	■	■	■	-	-	-	-	-	-	-	-	-	■	■	■	-	-

■：算定対象 -：算定対象外

> アロケーション

本算定では、GPIに記載の手順でプロセスの細分化およびアロケーションを検討した。パネル製造プロセス、支持脚製造プロセスにおいては他のパネル、支持脚が製造される。プロセスの細分化によるアロケーション回避が困難であり、当該プロセスで製造される各製品の生産量（面積or重量）によるアロケーションを行った。

> カットオフ

PCR5-2 に記載のプロセスはカットオフを実施し、それ以外のプロセスではカットオフは実施していない。

> システム境界

PCRに基づき設定を行った。GPIおよびPCRで定められたシステム境界外プロセス以外はシステム境界外としていない。時間的システム境界は100年である。

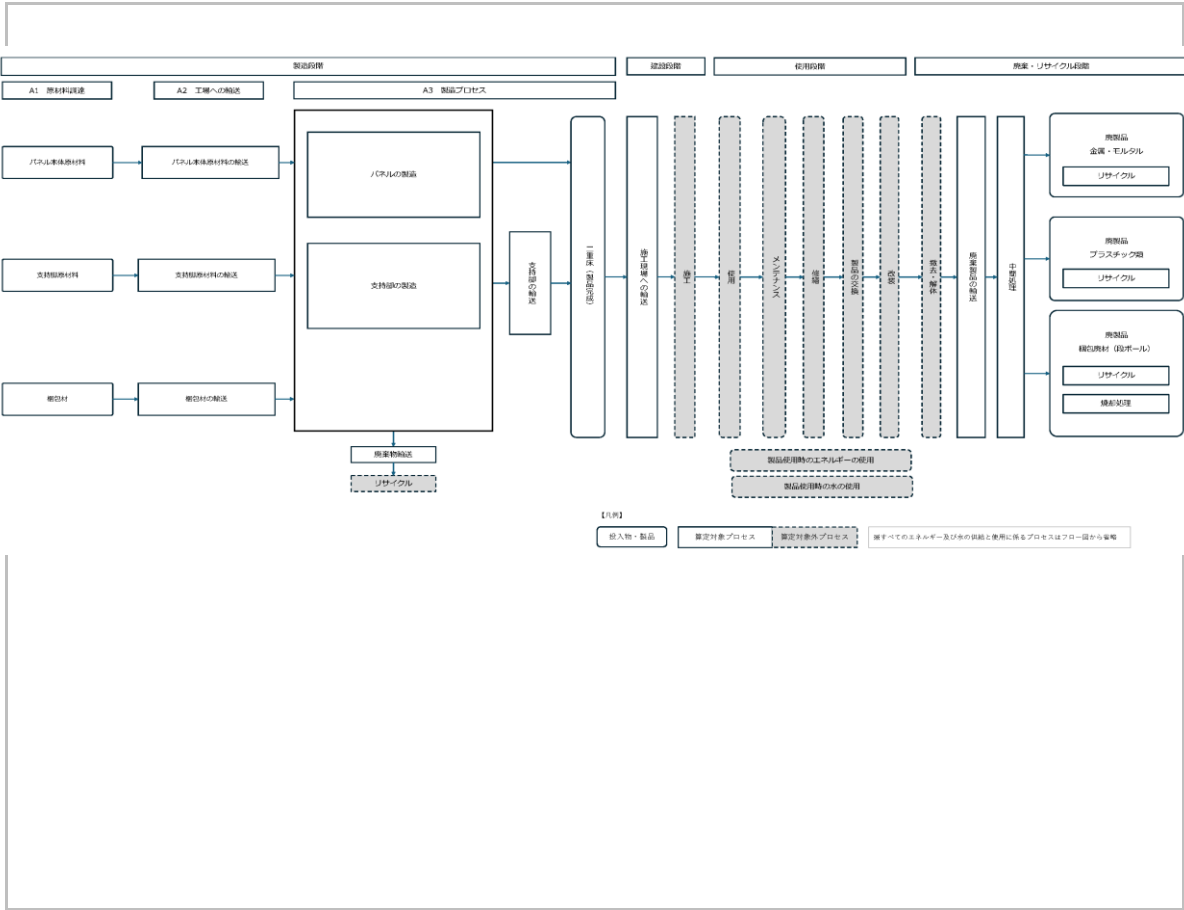
> シナリオ

モジュール	説明
A3	製造時に排出する廃棄物の輸送においてシナリオ（距離）と車格についてシナリオを使用した
A4	製品の輸送において輸送シナリオを使用した
C	廃棄物の処理割合、処理方法についてPCRに基づくシナリオを使用した

> 電力モデリング

対象とする全てのライフサイクル段階において、2022年度における日本平均の系統電力のデータを用いて算定を行った。

> ライフサイクルフロー図



●算定結果

>ライフサイクル影響評価結果

		資材製造段階						使用段階							解体段階				境界外 D	
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	資材関連					光熱水関連		C1	C2	C3	C4		
								B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7						
気候変動 - 合計	kg-CO ₂ eq	4.53E+01	5.17E-01	3.09E+00	4.89E+01	6.27E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.45E+01	1.40E+00	1.49E-01	-
気候変動 - 化石由来	kg-CO ₂ eq	4.53E+01	5.16E-01	3.08E+00	4.89E+01	6.26E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.45E+01	1.40E+00	1.42E-01	-
気候変動 - 生物由来	kg-CO ₂ eq	1.78E-02	1.18E-04	1.91E-04	1.81E-02	1.20E-03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.27E-03	2.95E-03	6.30E-03	-
気候変動 - 土地利用及び改変	kg-CO ₂ eq	1.55E-02	5.68E-04	4.65E-03	2.08E-02	6.47E-03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.16E-02	2.32E-03	5.91E-06	-
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	7.29E-07	8.51E-12	5.67E-09	7.34E-07	7.58E-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.24E-10	2.21E-09	1.56E-11	-
富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	1.37E-04	2.65E-09	6.44E-07	1.38E-04	2.92E-08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.12E-08	3.01E-07	1.50E-08	-
酸性化	kg-SO ₂ eq	3.32E-02	6.58E-04	4.67E-03	3.85E-02	8.90E-03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.87E-02	1.25E-03	1.76E-05	-
光化学オキシダント生成	kg-C ₂ H ₄ eq	3.33E-04	4.62E-06	3.23E-05	3.70E-04	5.96E-05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.94E-04	1.45E-05	4.61E-08	-
追加オプションのライフサイクル影響評価																				
非生物資源枯渇 - 鉱物	kg-Sbeq	2.30E-03	6.98E-09	1.37E-05	2.32E-03	2.63E-08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00E-08	5.98E-06	1.91E-08	-
気候変動 - 航空機輸送	kg-CO ₂ eq	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-

>ライフサイクルインベントリ分析関連情報—一次資源の使用に関する指標

		資材製造段階						使用段階							解体段階				境界外 D	
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	資材関連					光熱水関連		C1	C2	C3	C4		
								B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7						
再生可能一次資源 - エネルギー (RPR _E)	MJ	5.22E+01	1.30E-02	3.39E+01	8.61E+01	3.95E-02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.04E-02	1.20E+01	3.81E-02	-
再生可能一次資源 - エネルギー含有材料 (RPR _M)	MJ	4.38E-01	5.21E-06	1.04E-03	4.39E-01	5.93E-05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.33E-04	4.26E-04	3.25E-06	-
非再生可能一次資源 - エネルギー (NRPR _E)	MJ	5.74E+02	5.70E+00	6.79E+01	6.48E+02	6.90E+01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.59E+02	3.47E+01	1.07E-01	-
非再生可能一次資源 - エネルギー含有材料 (NRPR _M)	MJ	1.75E+01	3.65E-05	4.48E-02	1.76E+01	2.62E-04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.29E-04	2.27E-02	1.12E-04	-

>ライフサイクルインベントリ分析関連情報—二次資源の使用に関する指標

		資材製造段階						使用段階							解体段階				境界外 D	
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	資材関連					光熱水関連		C1	C2	C3	C4		
								B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7						
二次材料	kg	1.58E+00	3.36E-06	4.27E-03	1.58E+00	2.57E-05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.40E-05	1.53E-03	5.45E-06	-
再生可能二次燃料	MJ	1.12E-01	2.28E-06	2.34E-03	1.14E-01	1.67E-05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.48E-05	1.45E-04	8.15E-06	-
非再生可能二次燃料	MJ	8.47E+00	8.83E-06	5.77E-04	8.47E+00	1.03E-04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.23E-04	3.36E-04	6.65E-05	-
回収エネルギー	MJ	6.75E-01	2.18E-04	3.78E-01	1.05E+00	6.48E-04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.69E-04	2.14E-01	6.78E-04	-

>ライフサイクルインベントリ分析関連情報—非生物資源-化石燃料、淡水の消費量

		資材製造段階						使用段階							解体段階				境界外 D	
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	資材関連					光熱水関連		C1	C2	C3	C4		
								B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7						
非生物資源枯渇-化石	MJ	5.59E+02	7.03E+00	4.07E+01	6.07E+02	8.53E+01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.97E+02	1.94E+01	5.77E-02	-
淡水の消費	m ³	4.25E-01	2.67E-04	2.93E-03	4.29E-01	3.25E-03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.47E-03	2.63E-02	1.07E-04	-

> 廃棄物関連情報

		資材製造段階						施工段階		使用段階							境界外	
										資材関連					光熱水関連			
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2		C3
有害廃棄物	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-
無害廃棄物	kg	4.59E-01	5.30E-04	6.96E-01	1.16E+00	5.62E-03	-	-	-	-	-	-	-	-	8.07E-03	7.81E-01	8.44E-02	-
高レベル放射性廃棄物	m ³	1.31E-10	3.22E-14	5.11E-11	1.82E-10	9.71E-14	-	-	-	-	-	-	-	-	1.31E-13	2.88E-11	9.14E-14	-
中および低レベル放射性廃棄物	m ³	1.33E-07	3.30E-11	5.21E-08	1.85E-07	1.01E-10	-	-	-	-	-	-	-	-	1.34E-10	2.94E-08	9.31E-11	-

> 出力フローに関する環境情報

		資材製造段階						施工段階		使用段階							境界外	
										資材関連					光熱水関連			
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2		C3
再利用可能な部品	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-
リサイクル用材料	kg	0.00E+00	0.00E+00	1.17E+00	1.17E+00	0.00E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-
エネルギー回収用材料	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-
廃棄物からの排出エネルギー (エネルギー回収効率 ≧ 60%)	MJ	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-
廃棄物の焼却 (エネルギー回収効率 < 60%)	廃棄物焼却処分量	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-
	回収エネルギー	MJ	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-
廃棄物の埋立て (廃棄物の埋立てにより 発生する埋立ガスからのエ ネルギー回収)	廃棄物埋立処分量	kg	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-
	回収エネルギー	MJ	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00E+00	0.00E+00	0.00E+00	-

> LCA算定結果に関する説明

- ・C3の中間処理の算定では、全量を中間処理すると仮定し、素材ごとに破碎・選別の原単位を適用している。
- ・本EPDにおけるLCA算定では、生産サイトの活動量は一次データを収集したが、それに乗じるLCIデータには、一般的な二次データを使用している。また、一部の輸送距離についてシナリオを適用している。そのため、結果は概算値となることに留意が必要である。
- ・EPDは、状況が変化した場合、更新又は公開が中止されることがある。EPDの最新版、及び有効性を確認するには、以下を確認のこと。<https://ecoleaf-label.jp/epd/>

●追加環境情報

> LCAに関連しない追加環境情報

-

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
-	-	-

建材および建設製品からの危険物質の放出

-

●用語の定義

-

●参考文献

- ・ISO14025:2008 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO21930:2007 Sustainability in buildings and civil engineering works — Core rules for environmental product declarations of construction products and services

●改訂履歴

-